

# 名城大学 第25回 FD・SD フォーラム

テーマ：大学生の授業外学習時間について考える

日時：2023年11月2日(木) 9:30~11:45

開催方法：ZOOM ウェビナー

## 【企画概要】

本学では、大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観として、「生涯学びを楽しむ (Enjoy Learning for Life)」を掲げています。これには、全ての学生が在学中に本学の教育によって「学ぶ楽しさ」に気づき、卒業・修了後も、楽しみながら学び続けてほしいという思いが込められています。

しかし、本学の調査によれば、授業外学習（授業の予習・復習、授業に関わる読書、授業に関わる友人との議論）を週に1時間以上行っている学生は、わずか約3人に1人という結果です。

本フォーラムでは、全国の大学生の学習に関する状況を紹介した上で、学生の学習時間を増やすための取り組み事例を紹介し、そのノウハウを共有する機会を提供いたします。



## 基調講演

### 「大学生の学習状況について～全国データからの考察～」

村山 和生 氏（株式会社ベネッセ i-キャリア

まなぶとはたらくをつなぐ研究所 主席研究員）

## 【申込方法】（定員：300名）

下記 URL または QR コードからお申し込みください。お申し込み後、参加方法の詳細が自動メールにより送付されます。

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_IJRyXyHDTfW-MW9IjCh80Q#/registration](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_IJRyXyHDTfW-MW9IjCh80Q#/registration)



## 事例報告

### 「授業満足度調査から改善してきた主体的な学びの取り組み事例」

酒井 順哉 氏（名城大学 都市情報学部 教授）



【お問い合わせ先】名城大学 大学教育開発センター

E-Mail : edcenter@ccml.meijo-u.ac.jp

TEL : 052-838-2033 (内線 : 2659)

**MEIJO**<sup>th</sup>  
MEIJO UNIVERSITY 1926 - 2026

# 第25回FD・SDフォーラム企画 「大学生の授業外学習時間について考える」

## 1. 実施概要

- 日 時：2023年11月2日（木）9：30～11：45
- 場 所：Zoom ウェビナーによるオンライン開催
- 基調講演 テーマ：大学生の学習状況について～全国データからの考察～
- 基調講演 講師：村山 和生 氏（㈱ベネッセ i-キャリア まなぶとはたらくをつなぐ研究所 主席研究員）
- 事例報告 テーマ：授業満足度調査から改善してきた主体的な学びの取り組み事例
- 事例報告 講師：酒井 順哉 氏（都市情報学部 教授）
- 参加者数：136人  
（本学専任教員等95人、本学事務職員等20人、他大学教員5人、他大学職員11人、その他5人）

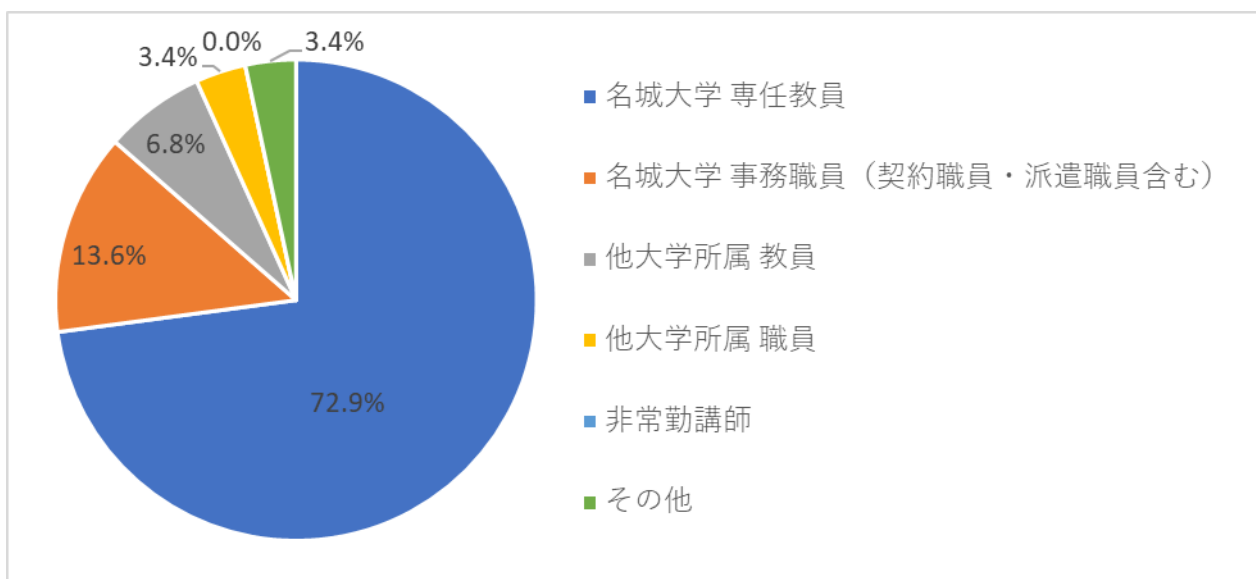
## 2. アンケート方法等

アンケート方法：Google フォーム

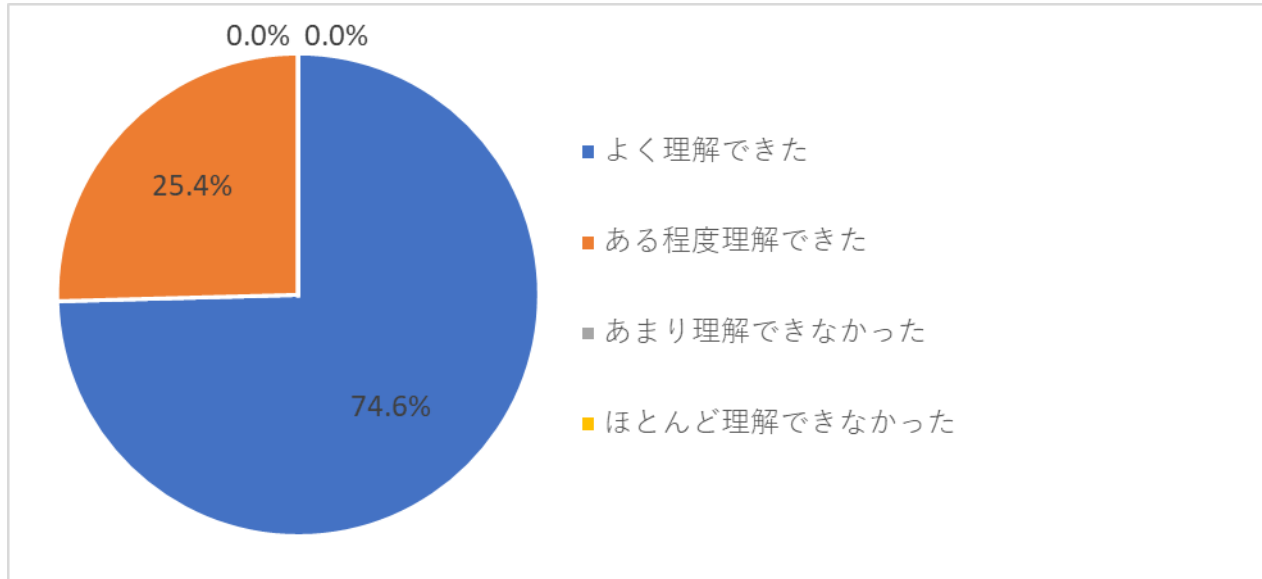
- 質問項目：以下のとおり
- ①所属をお知らせください
  - ②基調講演「大学生の学習状況について～全国データからの考察～」の内容は、理解できましたか？
  - ③基調講演「大学生の学習状況について～全国データからの考察～」の満足度について教えてください。
  - ④基調講演「大学生の学習状況について～全国データからの考察～」において、関心を持ったポイント、重要だと感じたポイントを教えてください。
  - ⑤事例報告「授業満足度調査から改善してきた主体的な学びの取り組み事例」の内容は、理解できましたか？
  - ⑥事例報告「授業満足度調査から改善してきた主体的な学びの取り組み事例」の満足度について教えてください
  - ⑦事例報告「授業満足度調査から改善してきた主体的な学びの取り組み事例」において、関心を持ったポイント、重要だと感じたポイントを教えてください。
  - ⑧企画内容について、ご意見や感想がありましたら、ご記入ください
- 回答者人数：59名
- 質問④、⑦、⑧について主な意見のみを示しています。（※一部抜粋・改稿を含む）

## 3. アンケート結果

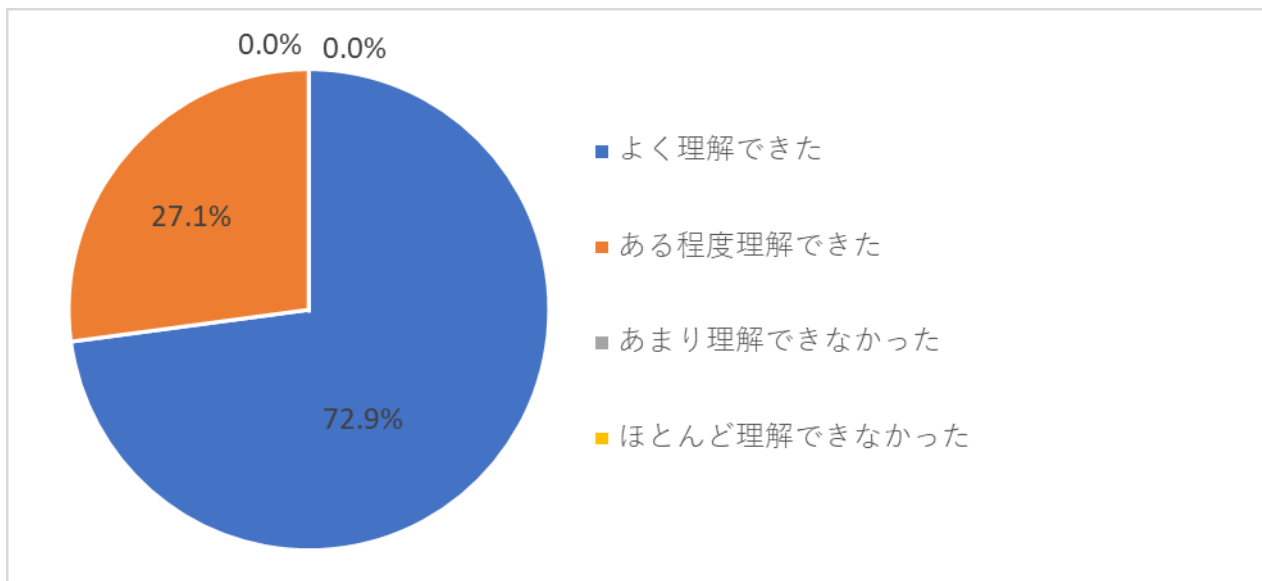
①所属をお知らせください。



②基調講演「大学生の学習状況について～全国データからの考察～」の内容は、理解できましたか？



③基調講演「大学生の学習状況について～全国データからの考察～」の満足度について教えてください。



④基調講演「大学生の学習状況について～全国データからの考察～」において、関心を持ったポイント、重要だと感じたポイントを教えてください。

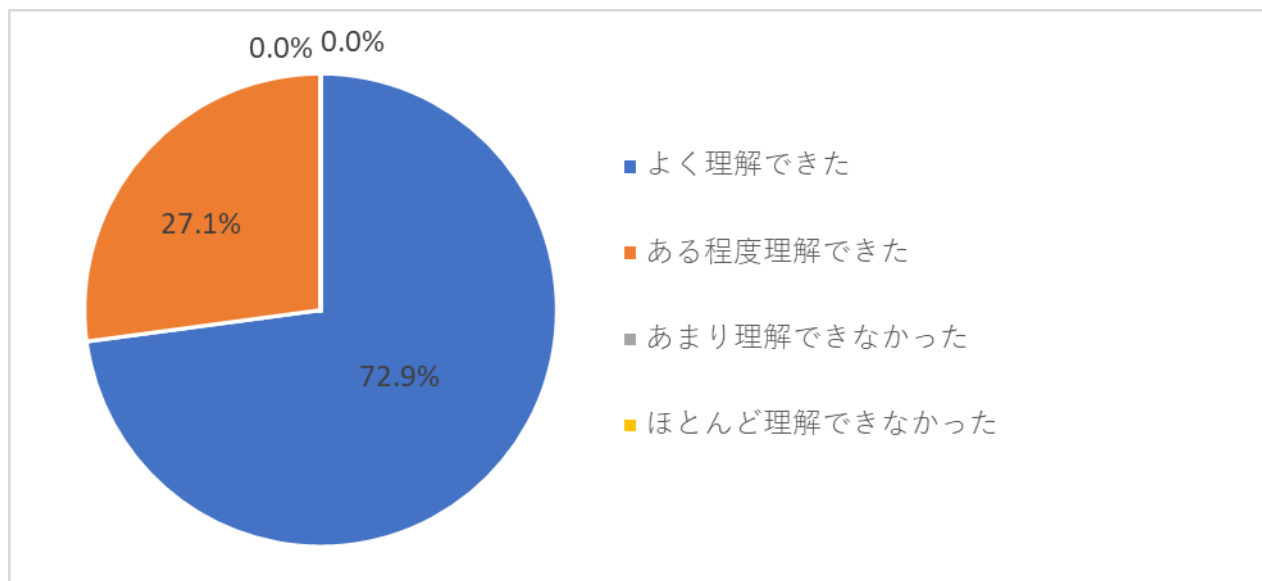
- ・実践は難しいですが、初年度に失敗をさせるという観点はとても関心を持ちました。
- ・社会人基礎力と大学での学びの連結を意識づけるという点。
- ・高校等でカリキュラムの詰め込みから脱し、学習時間を生徒に返そうとする動きがあるという点は、大学での科目編成でも参考にすべき点かと私は思いました。ありがとうございます。
- ・主体性をいかに持たせるかだと感じました。
- ・学びの意味付けは従来から言われている通り重要であることを再認識できた。
- ・学生が課題をこなすことが主体的な学びとは必ずしもいえない、という指摘。

- ・早い段階で自分に必要なスキルなどを気づかせ、実際に身につけさせるように誘導することができれば良い。
- ・学生時代の学びや学ぶ姿勢が社会人としての満足に繋がるという点です。
- ・留学は主体的な学びの典型と考えていますので、調査結果を意外なものを受け止めました。
- ・学生の主体性を喚起するには、正課と正課外での仕掛け、このどちらも必要になりそうだと感じました。
- ・「主体的な学び」促進に当たっての FSP 講座の意義を再認識した。
- ・学びの意味づけをすることの重要性。
- ・学生調査をどう分析するか。
- ・学習の意味や目的を学生自身が把握していることが重要であるということが理解できました。
- ・学ぶ意味づけをどうするかが重要とのことだが、改めて考えるきっかけになってよかった。
- ・大学の授業改善アンケートでも結果についてもう少し踏み込んだ分析結果をいただけるとありがたいです。
- ・学びのスタイルと身に付けた資質能力の関係での説明全般と特に重要な項目としてあげられたラーニング・クラフティング及び領域を超えたカリキュラムについて。
- ・学生のニーズと大学・社会のニーズにギャップが有ること。
- ・ラーニング・クラフティングが重要と感じました。
- ・大学での学びの取り組み（学習行動）が、高校時代の学習習慣に影響されている点。大学で身についたと思う能力・スキルに対して、アルバイトよりも「大学の授業」や「卒論への取り組み」が影響力を持つ点。大学での学び（正課教育）が課外活動よりも学ぶ意義を高めていることがデータで検証されたことの意味は非常に大きいと思います。
- ・「主体的な学び」にかかわる部分、あるいはその関連領域の重要性が印象に残りました。
- ・身についた資質・能力と大学時代に力を入れた活動の関係を明確に示していただいたところに感銘を受けました。どのようにすれば、学生の主体的な活動に結び付くかを考え続ける日々ですが、参考になるデータをたくさんお示しいただきました。
- ・「主体的な学び」とはどのようなことなのか、大学側が色々と強要？してやらせるものではないことを再認識し、また、「主体的な学び」を増やせるような仕組みづくりを、学務センターとも連携して進めていって頂けると有り難いと感じました。また、授業への出席とか、予習・復習の時間とか、ある一面ではあまり重要ではなく、その講義から何を学んで、どう将来に活かせるようになったのかという視点を持っていたいと思いました。管理する指標は簡単ですが、勉強は強いてやるものではなく、自ら学ぶものと考えているためです。それが大学なのかなあ。。。。もっと自由に学べる環境を作ってあげられると（単位にこだわらず、）良いですね。
- ・主体的な学びができている学生が、卒業後も輝く、という点は非常に重要かつ納得できます。一方で、「主体的な学び」と「授業外学習時間」は必ずしも結びついていない、という内容であったと思います。これは、学生がアンケート等に回答する際に「当該授業科目について使った時間」のみを「授業外学習時間」ととらえており、そ

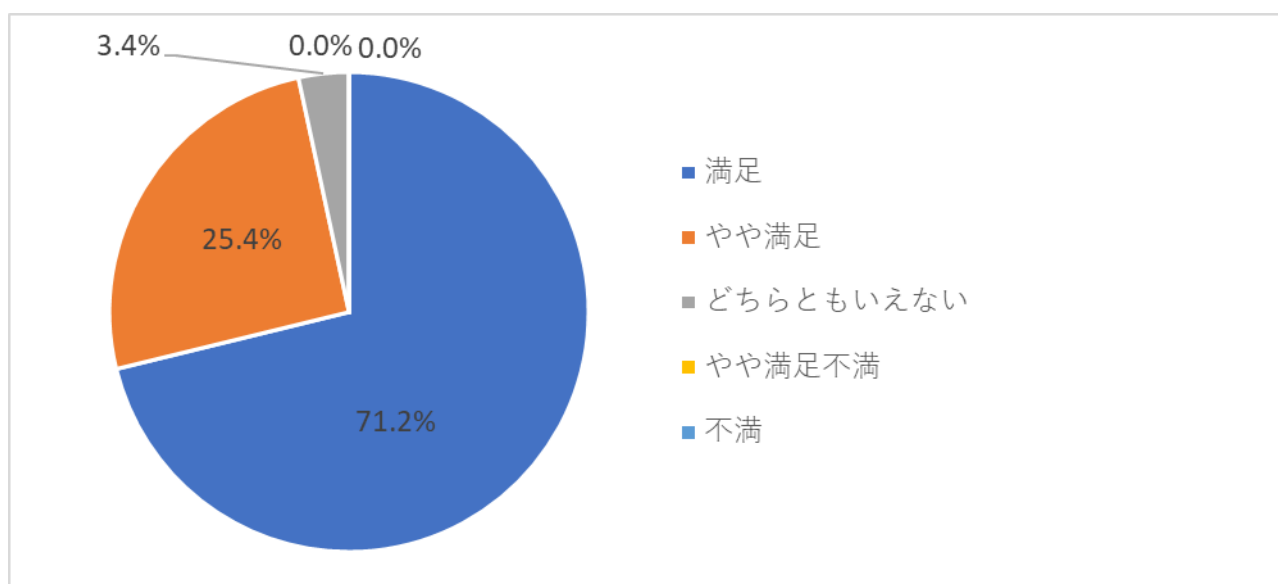
の学生のアクティビティの中で「当該授業科目に関する知見を活かした時間」が含まれていないせいではないかと考えました。(類似の指摘は、質疑応答の中でもあったと思います)

- ・近年の学生がどんどん受動化しているデータを拝見し、衝撃を受けました。「生徒と学生は違う、学生は自ら学ぶ人」と学生には事あるごとに言っていますが、高校生から大学生に意識転換できていない学生(子どものまま)の割合が増えており、大きな問題だと感じます。
- ・主体的な学びができていない人の分析では、相関がある要素を明らかにしていただき、大変有意義なお話でした。一方で、この分析でお示しいただいたのは大学入学後の行動・姿勢であり、なぜ両者が分かれるかという「原因」までは踏み込めていないように感じました。大学入学時に、既にある程度姿勢が固まってしまうように感じております。主体的学びができる学生とできない学生が入学してくる中で、大学入学の年齢以降の教育で主体性を身につけるために何ができるか、アドバイスをいただけますとありがたいです。
- ・1年生の授業を担当していますが、そもそも自主的に学習できる人は初めからよくできて、おそらく3年生になっても引き続きできるのだと思いますが、できない人の場合は、意識改革から始めて、勉強の仕方を丁寧に教える必要があると思われまます。1年生から3年生になる間に劇的な変化のあった人の話を聞きたいと思いました。
- ・受講生自身が、自学自習しているにもかかわらず気づいていないかもしれない、ということが印象に残った。受講生自身が主体的な学びとは何かを認識するうえで重要な事項と感じたため、今後の授業で周知していきたい。
- ・近年の学生全体における「他者依存傾向」が見られるデータ分析結果について、関心を持った。教育の習熟度や定着度を高めるために、自身の業務を通じて提供する様々な教育支援に関し、当該学生が「受け身」ではなく、いかに「能動的」に活用してもらえるかを念頭に置いた業務展開が必要ではないかと感じました。
- ・自身が幸せな活躍をしていると感じている社会人たちは、その秘訣のひとつとして学生時代に幅広い教養に触れることができたことも挙げているとのお話があったことが、興味深かった。
- ・学生さんの勉強時間は本当に少ないなあと思いました。色々な分析や解釈はあり得ると思いますが、根本的には、現在の我々の生きている社会の有様が反映しているのかという印象です。大学や教員がどこまで学生に働きかけることができるのか、すべきなのかは難しい問題だと感じました。
- ・全体的に非常に面白く、かつ有益な示唆に富んだご発表だった。特に失敗を経験することで主体的な学びの姿勢が促されるという指摘は、いつも自分が心がけていることでもあるので、今後も継続していきたいと思った。
- ・高校時代からグループワークやディスカッションを経験していても、主体的な学びにつながっていないのは、授業の一環と捉えてしまっているからでしょうか。
- ・普段の生活の中で、疑問に思ったら調べてみたり、自ら工夫したりすることが大切なのかもしれません。
- ・もっと深く知りたい、学んでみたいという気持ちにつなげることの難しさを感じました。

⑤事例報告「授業満足度調査から改善してきた主体的な学びの取り組み事例」の内容は、理解できましたか？



⑥事例報告「授業満足度調査から改善してきた主体的な学びの取り組み事例」の満足度について教えてください



⑦事例報告「授業満足度調査から改善してきた主体的な学びの取り組み事例」において、関心を持ったポイント、重要だと感じたポイントを教えてください。

- ・授業に関する具体的な取り組みがご紹介されており大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・学びを定着させる具体的な方法・工夫。
- ・どこまで学生を管理するかという話でもあり、意欲の低い学生に対するアプローチが重要になるだろうと経験的に思いました。ありがとうございます。
- ・非常にきめ細やかな対応が学生の学びにつながることを実感しました。
- ・日々学生のために授業改善を行っている教員の努力は学生に伝わっていることがよくわかりました。

- ・素晴らしい取り組みですが、受講者数が多い場合、教員負担は大きいと思います。同様の取り組みを全教員に促すには、カリキュラムのスリム化（ノルマ負担軽減）が必要と感じました。
- ・理解度確認テストの実施は学生の学習意欲向上につながっていることをデータとして見られた点。
- ・授業動画の作成方法。
- ・いかに、講義に集中させるかが大事ですね。自分の講義においても、実践しているものもあったので、これからも続けていこうと思いました。
- ・どうしたら学生の成長に繋がるかを常に意識して取り組んでいらっしゃっていたところです。
- ・早い段階から学生の満足度調査に取り組んでこられたご努力に敬意を表します。
- ・酒井先生がこれだけのことをされるにあたっては、かなりの労力が必要なはずで、それをサポートするような全学的な体制の構築（たとえば IR の充実、教育補助職員の増員など）が必要ではないかと感じました。
- ・専門科目、ゼミの双方について様々な創意工夫を施されていることに感銘を受けた。
- ・出席することと理解度は異なる。
- ・効果的な教材提供と理解度評価。
- ・施設や設備の変化に対して工夫していくことが思った以上に大切であるとわかりました。
- ・授業に出てよかったと思わせる工夫について、考えさせられた。
- ・学生が授業に出席した授業の理解度を深めるために多面的な工夫を実践されている点と、結果を分析して取組をブラッシュアップされ続けている。
- ・講義出席回数と定期試験得点に相関がないこと。出席しなくても良いというわけではなく、形式的に出席しただけ（出席回数が多いだけ）では得点につながらず、理解度が得点につながるものが客観的に明らかにされたこと。
- ・ご講演を拝聴し、一番に感じたことは「学生の視点や立場」で授業を行い、改善のお取り組みをしていらっしゃるということです。また、貴学全体の調査だけではなく、先生独自のアンケートや外部アセスメントなどを用いることで、実施された施策ごと・主観調査・客観調査など多面的な側面から学生の声に耳を傾けていらっしゃる点に大変感銘を受けました。
- ・酒井先生がおっしゃっていた「授業を面白く、分かりやすくすることに主体的な学びのヒントがある」というメッセージは私の中でも今後大切にしたいと思います。
- ・勉強の集中力について関心を持ちました。
- ・どのように授業を展開すれば学生が成長するのか、について常に考え、改善を継続することが重要だと思いました。コロナ禍の経験をプラスに生かしておられ（動画や、LMS の活用）、大変勉強になりました。
- ・たんに勉強するのではなく、学生が「この授業おもしろいな」と思えるように、理解度をこまめにチェックしておられることなど、こちらも学ぶべき点が多々ありました。ありがとうございました。
- ・出席確認に際して、IC 読み取り機とマークシートを併用している点が重要と思いました。
- ・私も講義に出席することの重要性を感じており、共感する内容がとても多くございました。よく講義を聞き、ノ

ートをまとめ直したりしている学生は、自分がそうであることを教員に少しでも知っていてほしいと思っていることを普段から感じており、今後の講義の参考にさせていただきたいと思います。

- ・「社会人基礎力」の診断をゼミ生に3回にわたって行われているとのことで、学生の成長実感を得るためには非常に有効だと思いました。よろしければ、どのような診断を用いているか、教えていただければ幸いです
- ・学生への情報提示、出席の取り方などについて緻密な設計をされており、素晴らしい取り組みだと思います。ただ、相当な労力をかけておられるご様子で、すべての講義でこれだけの手間をかけるのはなかなか難しそうに感じました。
- ・酒井先生の、学生の授業満足度を上げる工夫、不断の努力に大変感心しました。全てを取り入れることは難しいと思いましたが、自分でもできることを探っていきたいと思いました。
- ・酒井先生の授業改善のお取り組みの状況を理解することができたと感じている。山田先生の質問にもあったとおり、映像の提供により、講義の説明を聞かなくなる傾向があることは、多くの教員が感じている問題なのではないかと感じた。このあたりの改善策については、自身の講義でも引き続き検討していきたい。
- ・酒井先生の講義(=当時の講義名称は「経営管理論」)は、私自身も一学生として受講していたため、当時を思い出しながら、今回の事例報告を拝聴していました。積極的な学会での発表や、ゼミの研究内容に係る資格取得に通ずる学びの推奨等、良い意味で当時から変わらずに今日まで貫かれている教育方針がある一方、本日の事例報告をされておられました、コロナ禍を起因とする教育のDXの機会を積極的に活用されて、常に最適解を求めて創意工夫を継続されている姿勢や内容に、感銘を受けました。
- ・毎回、受講生の指定着席場所を変更されることで講義環境の静粛を保持されている点。また誰がどこに着席しているかがすぐに判明する状況であることで、学生に緊張感を持って受講に臨むようにされている点。
- ・動画の提供や理解度テストなどを使って学生が学校外で学習する時間を増大させようとする工夫は素晴らしいと思った。しかしその一方で、たしかに「お勉強」の時間は増えると思うが、「主体的な学び」の時間が増えているといえるのかは疑問が残った。これはおそらく「主体的な学び」の定義の問題だと思うので、改めて「主体的な学び」とはどのようなことなのかを大学全体で議論すべきなのではないかと思った。
- ・授業に出席していても、聞きもらしたりすることがあるので、MP4 動画で復習できるのは良い取り組みだと思います。
- ・web クラスで資料が手に入ると授業を出席しない学生も出てきますが、出席確認マークシートの提出も義務付けているので、より効果的だと思います。また、集中力は「15分」が限界という科学的データを用いて工夫されている点も、メリハリのある授業 → 理解度につながっていると思いました。

#### ⑧企画内容について、ご意見や感想がありましたら、ご記入ください

- ・大変勉強になる機会を頂戴し、心より深く感謝申し上げます。
- ・今回も、大変有意義な企画でした。今後の参考にさせていただきます。



- ・今回のテーマは、経営学部においてはすでに実践されているものも多かったので、非常に実感できるもののためになりました。
- ・今回はベネッセの関連企業の行った調査でしたが、1社だけの調査結果に基づくのではなく、他社の類似の調査との比較も重要かと思います。労力は大変とは思うものの、今後の企画の中で、類似の調査を横断して分析する試みがあると、よりよいかと思います。
- ・事例について、短くても良いので文系・理系や講義種別など様々なものについてちょっとした工夫でも良いので複数の事例を紹介していただく機会があるとありがたいです。
- ・FDの企画ではないですが、授業評価アンケート内容を分析し、入学当初からどのような大学生活を送ると社会で活躍できるようになるのか、ガイダンスを行うと良い気がしました。学生がそれを理解して実行しないと無意味かもしれませんが、定期的な意識付けが必要になると思いました。薬学部では国家試験がゴールになってしまいがちなので、単位を取ることが目標になってしまう学生が多い気がします。
- ・今回のフォーラムの内容では、「主体的な学び」を通じて、ラーニング・クラフティングのように、「学ぶ意義」が重要であることを改めて認識できました。学ぶ意義を理解できているからこそ主体的な学びにつながるということを、今後、授業を改善していくうえで参考にしていきたいと思います。また、主体性をもって授業を受ける意義についても改めて学びました。今回の内容を学生に還元し、学生の学びの向上に資するように努めていきたいと思います。今回のような学生の学習状況に関するデータについてはあまり触れることがなかったので、学生の実態を理解していくうえで、今回の企画は大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・学務センターと連携して、新しい教育方法など提案するような企画も面白いかも知れません。
- ・2件の講演はいずれも示唆に富む、素晴らしい内容だったと思います。一方で、本日のテーマである「大学生の授業時間外学習時間について考える」という観点からはベストマッチとはいえない内容であるように思いました。テーマと講師の選定・依頼は非常に難しいとは思いますが、学習会で共有したい知見は事前に整理しておいていただければ、より有意義な学習会になると思います。
- ・内容は充実していたが、長時間の開催となると他案件との重複も生じやすくなるため、後日の映像受講の申し込みフォームも用意していただきたい。
- ・基調講演の内容は、窓口対応を行う事務職員の方（可能であれば、すべての事務職員の方；異動の可能性もあるため）に、ご聴講いただくとよいのではないかと感じた。学生の主体的な学びを促進させるのは、窓口ご対応いただける事務職員の方のお声がけが大いに影響するのではないかと、日々感じている。関連して、教育職員と事務職員、TA等の連携が強化されることを願っている。
- ・山田センター長が最後におっしゃっていた、「主体的な学びの場から落ちこぼれている学生さんを、いかにして学びの場に戻すか」をテーマとすることをご講演を、ぜひ開催をお願いします。一般入試以外での入学者が増加することと関連しているのか、年々深刻な問題となっています。

以上